

2026年8月27日
セーフィー株式会社

セーフィー、顔認証入退室管理「Safie Entrance」に共連れ検知機能の提供を開始 映像×AIで出入口の不正な入退室を検知し、物理セキュリティの課題を解消

クラウド録画サービスシェアNo.1（※1）のセーフィー株式会社（東京都品川区、代表取締役社長CEO：佐渡島 隆平、以下「セーフィー」）は、クラウド型顔認証入退室管理サービス「Safie Entrance（セーフィー エントランス）」に、物理セキュリティにおいて解決が難しい課題である不正入室を検知する「共連れ検知機能」を標準機能として、2026年8月27日より提供開始することをお知らせします。

本機能は、「Safie Entrance」とエッジAIカメラ「Safie One（セーフィー ワン）」を併用し、「顔認証端末の認証人数」と「カメラ映像で検知したライン通過人数」の差分をAIで自動突合し可視化する、アクセスコントロールの新しいアプローチとなります。オプション費用等の追加料金なしで利用ができ、すでに設置済みの「Safie One」でもご利用いただけます。

フィットネスジムやレンタルオフィスなどの会員制施設や無人・省人運営店舗、オフィスやマンションなどでのセキュリティリスクの低減と運用効率化を同時に実現します。



■ 提供の背景と実現できる価値

従来の入退室管理において、検知や抑止が極めて困難なセキュリティリスクとして、認証した人の後ろに未認証の人が続いて入室する「共連れ（追従入室等）」があります。

共連れは、善意による譲り合いから悪意を持った内部不正まで多岐にわたり、権限のない人物のセキュリティエリアへの侵入リスクを高めるだけでなく、「ログに残らないため事後の追跡が容易ではない」「専用の検知センサーやアンチパスバック導入の費用負担が大きい」という課題を抱えていました。

こうした入退室管理の課題および企業のセキュリティリスクに対し、「映像データ」とセーフティーのAI技術を活用した「人数カウント」を掛け合わせることで、実効性が高く、かつ導入ハードルが低く、すぐにご利用を開始いただけるソリューションを開発いたしました。

■「共連れ検知機能」の特長

・「認証ログ」×「AI画像解析」の掛け合わせによる証跡管理をサポート

単なるセンサー検知ではなく、顔認証端末の認証人数と、カメラ映像で検知したライン通過人数をカウントして突合します。差分が発生した場合には「共連れ」として自動検知します。

・ワンクリックでの映像確認による現場管理の負荷軽減

検知結果はSafie Entrance管理画面に表示され、そこからワンクリックで該当の映像へ遷移できます。現場管理者は迷うことなく瞬時に状況・証跡を映像で確認可能です。

・専用センサー不要で圧倒的な導入ハードルの低さ

専用の共連れ検知センサーなどの追加購入は不要です。すでに設置されている、または日常的に防犯カメラとして利用している「Safie One」があれば、端末間の連携のみで即座に運用を開始できる高い経済性を備えています。

（「Safie One」をご利用されていない場合はカメラの導入が必要です）

ワンクリックで映像確認

日時	認証時画像	解錠結果	共連れ検知
2026-08-24 11:30:15		解錠 (オフライン)	共連れ検知

日時	認証時画像	解錠結果	共連れ検知	登録画像	利用者名	利用タグ
2026-08-24 11:30:15		解錠 (オフライン)	共連れ検知		山田太郎	無断エリア 退室出入口
2026-08-24 11:30:16		解錠 (オフライン)			山田太郎	無断エリア 退室出入口
2026-08-24 11:30:17		解錠 (オフライン)			山田太郎	無断エリア 退室出入口
2026-08-24 11:30:18		解錠 (オフライン)			山田太郎	無断エリア 退室出入口
2026-08-24 11:30:19		解錠 (オフライン)			山田太郎	無断エリア 退室出入口
2026-08-24 11:30:20		解錠 (オフライン)			山田太郎	無断エリア 退室出入口

■今後の展開とセーフイーの目指す未来

Safie Entranceは、本機能のファーストステップを皮切りに、順次アップデートを予定しています。将来的には、通知機能の多角化や人物検索などとの連携、さらにはセキュリティシステムとの連携も視野に入れています。これにより、あらゆる現場の高度なアクセスコントロール需要に寄与できるよう開発に尽力してまいります。

ドアを起点とした、アクセスコントロールに関わる機能やサービスを拡充することで、オフィスや店舗、あらゆる出入り口に、映像×AIによる「現場DX」を基盤にした「現場AX」による安心安全をお届けできるよう邁進いたします。



(※1) テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査(2025)」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア(54.3%)

*セーフイーは「セーフイー データ憲章」に基づき、カメラの利用目的別通知の必要性から、設置事業者への依頼や運用整備を逐次行っております。

*取得する情報はデータ取得者のみで閲覧し、法令に基づく場合を除き、個人データの第三者提供はいたしません。また個人の特定や追跡などの利用は行いません。

本件が2026年12月期通期業績に与える影響は軽微であります。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

【本件に関するお問合せ先】

セーフイー株式会社 IR担当 Email:ir@safie.jp